

彙報

(令和二年度の学会・学科行事)

令和二年度

○四月七日(火)

尾道市立大学日本文学科新入生顔合わせ

○五月二十九日(金)

新入生対象 おのみち文化スタディ(オンライン)

○十月十四日(水)

卒業論文・修士論文中間発表会(オンライン)

○十一月七日(土)

三年生・大学院生研究発表会(オンライン)

○十二月五日(土)

尾道市立大学日本文学科主催公開講演会

↓尾道市立大学日本文学会大会

○十二月五日(土)

尾道市立大学日本文学会大会(オンライン)

■研究発表

深水舞(本学三年生)

『敦忠集』の物語性について

由良木陽向(本学三年生)

乾元二年五月四日『歌合』研究―各題の詠歌傾向に注目して―

塩飽祥子(本学三年生)

動作と連動する立ち上げ詞「ヨイシヨ」「ヨッコラシヨ」の使い分けについて

藤本真理子(本学教員)

呼びかけの助詞「ヨ」の変遷―返事を期待しない働きとその特徴―

■尾道市立大学日本文学会総会

■公開講演会

スペシャル対談「講談の魅力」

旭堂南海氏(講談師)、藤沢毅(本学学長)

講談「明智光秀」

旭堂南海氏(講談師)

○一月下旬〜二月上旬

令和二年度卒業論文・卒業制作・修士論文口頭試問(オンライン)

尾道市立大学日本文学論叢投稿規定

1. 本誌に掲載されるのは、尾道市立大学日本文学会会員の携わる研究領域に関わる未発表の原稿（研究論文または創作）とする。
2. 研究論文の場合は、400字詰め原稿用紙に35枚以内（後注・文献等を含む）。創作の場合は、400字詰め原稿用紙に100枚以内とする。
3. 投稿には、原則としてワープロソフトを使用すること。
標準的な書式は、縦書き25字×23行、横書き40字×35行とする。
4. 研究論文の注は後注とし、本文の終わりにまとめ、引証文献一覧を付すこと。
5. 投稿に際しては、プリントアウトもしくは浄書したものの2部を、原稿データとあわせて提出すること。
6. 投稿の採否は当学会編集委員会が決定する。なお、採否に関する問い合わせには応じない。
7. 執筆者校正は初校のみとし、再校以降は編集委員会においておこなう。
8. 当学会に提出された原稿ならびにCD-ROM等のメディアは返却しない。
9. 原稿掲載の場合、執筆者には本誌3部と抜刷20部を贈呈する。
10. 本誌に掲載された論文等の著作権は、著者に帰属する。ただし、当学会は本誌に掲載された論文等を電子化し、公開することができるものとする。

11. 投稿宛先 〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600番地2
尾道市立大学日本文学会編集委員会 ※追記参照のこと

追記

『尾道市立大学日本文学論叢』18号投稿締切 2022年8月31日

18号投稿宛先・問い合わせ先

〒722-8506 尾道市久山田町1600番地2 尾道市立大学日本文学会編集委員会(藤川研究室)

e-mail fujikawa@onomichi-u.ac.jp TEL 0848-22-8311(代)

投稿および投稿についての問い合わせに際しては、必ず住所・氏名（ふりがなを添えて）・所属・電話番号・メールアドレスを明記すること。